



廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

9月号 (No.13)

令和6年

9月20日 (金)

カープ芸人 ゴッホ向井さん 来校！

大竹市出身の向井さん。現在は広島を拠点にテレビやラジオに出演されるなど、様々な活躍しておられます。以前はアメトーク!にもカープ芸人としてアンガールズ田中さんたちと出演されたり、定時制高校芸人として今田耕司さんたちと出演されたりといった経歴もあり、順風満帆の人生を歩んでおられるのかと思っていたら・・・

(当日欠席した生徒もいましたので、向井さんのお話を簡単にまとめました。)

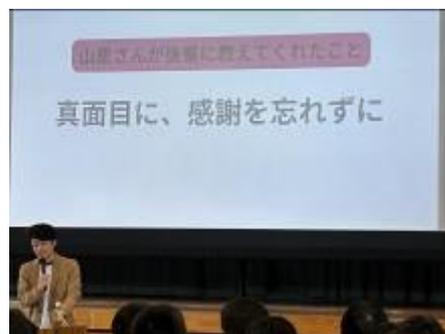
☆カープの選手の言葉に救われた話

中学生の頃、学校に行くのが嫌になり、カープの2軍練習場に立ち寄った向井さん。そこで当時の木村拓也選手に「写真撮ってください」と言って一緒に写真を撮ってもらった時に「学校はどうしたの?」と聞かれました。向井さんは正直に答え、「大丈夫、大人だって朝起きて会社行きたくなえて時、結構あるから、焦らなくて大丈夫だよ」と笑顔で言われました。おかげで気持ちが楽になって、学校へ行くようになったという話でした。



☆高校生の時 M-1 グランプリの予選に行った当日の話

相方がドタキャンしたそうで、連絡も付かずに諦めて辞退を伝えた後、MC だった“へびいちご”さんたちに呼び止められ、3人で舞台に立たせてもらったそうです。「辛かったよな、でもな、お笑いを嫌いにならんでな」という言葉でお笑い芸人を目指すようになったという話でした。



☆お笑い芸人になることを両親へ告げた時の話

定時制高校に通い、アルバイトをしながらお金をためて、上京してお笑い芸人になることを、両親(当時学校の先生だった)へ伝えた時、きっと猛反対されると思っていたら、逆に褒められて応援してくれたという話でした。

☆東京でいろんな先輩芸人に支えられた話

チュートリアルの徳井さんやスピードワゴンの小沢さんたちと同居生活した時のこと、南海キャンディーズの山里さんに食事や衣装を助けてもらったこと、山里さんが向井さんの出ている広島の番組にノーギャラで出演してくれたこと、思い出と一緒に心から感謝している話でした。

☆チケット&ステッカー争奪 クイズ大会+ジャンケン大会

今、活躍しているカープの末包選手、矢野選手、小園選手にまつわる○×クイズで人数を絞って、最終的には向井さんとのジャンケン勝負で争奪戦を行いました。とても盛り上がりました。ゲットできた人、おめでとうございます。



☆感謝の言葉と記念撮影

生徒を代表して3年生の中田夢音さんがお礼の言葉を述べ、花束を贈りました。そして学年ごとに記念写真を撮りました。生徒の皆さん、いつかどこかで向井さんに会えたら「あの時の佐伯中の生徒です」と声を掛けてみるとういんですね。向井さんもそれを望んでおられました。



☆生徒の感想

◎今日は私達のために貴重な時間をありがとうございました。私は今回の講演会で初めてゴッホ向井さんのことを知りました。M-1 グランプリにエントリーしたけど、友達にドタキャンされ、諦めていたところをへびいちごさんが助けて下さったおかげで芸人になれた事を知ってビックリしました。元広島カープの木村拓哉さんや南海キャンディーズの山里亮太さんなどの恩人のおかげで今やれていると分かりました。「好きなことを続ける」「尊敬できる人を見つける」「辛い時は無理せず逃げる」という3つの言葉を胸に刻んでこれからも過ごしていきたいと思います。ずっとゴッホ向井さんのことを応援しています。本当にありがとうございました。

◎こんなにも感謝して今も尊敬していることを佐伯中学校の皆に伝えるってことはゴッホ向井さんも優しい人なんだろうなと感じました。

◎向井さんの言葉を聞いて救われました。

◎山里さんから言われた「世の中には色々な賞があるけど努力賞が一番素敵な賞」に感動した。

◎向井さんのことを尊敬します。

